

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 6 月 3 日

事業所名 児童発達支援センターパステル 単位2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		活動に適したスペースです	前年度、遊ぶスペースが手狭だったので、移転し広々とした場所で活動することが出来ています
	2	職員の配置数は適切である	8			基準人員は適切に配置しています
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		・体を動かして遊ぶスペース、本や制作を行うスペース・クールダウンする個室等場所を分けている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		清潔で心地よく過ごせるよう毎日清掃を行っています	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		モニタリング時に目標の確認と振り返りを行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	評価表で出た意見に対応し、改善できるよう心掛けています	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		当法人のHPにて公開しております	事業所の会報に関しては、保護者へ直接渡しています
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8		監事監査で評価して頂いた内容の改善に取り組んでおります	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		研修への参加は積極的にいき、個々のスキルアップに努めています	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		エイブルを活用し、アセスメントを行っています	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	専門職のアセスメントを行い、支援に活用しています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1	家族からニーズを聞き取り作成しています	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		計画書に沿った支援を行っています	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		毎週火曜日、1時間程度「そだちの広場」で感覚遊びなどを立案して行っています	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		リーダーを中心に活動プログラムの話し合いを行っています	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
ハ	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	8		子供の状態に合わせて、計画書の作成を行っています	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2	ミーティングに支援内容等を職員間で確認しています	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3	その都度、支援日誌に記録しています	終礼は行っていないが、その日にあった課題は、翌日のミーティングで話し合っています
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		毎日記録を行っています	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		スタッフに児童の様子を確認し見直しを行っています	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		主に児童発達支援管理責任者が参加していますが、状況に応じて専門職(看護師・作業療法士など)も参加しています	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		保健所の保健師など、モニタリング時に共有をしています	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8		必要に応じて、病院、保健所など関係機関と連携を取っています	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8		直接主治医とはないが、地域連携室を通して調整しています	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		保護者を通して、保育園や幼稚園と共有を図っています	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		学校へ直接出向き調整・共有を行っています	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	必要な専門機関から助言や研修を受けています	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	4		実施が十分ではないので、参加する機会を検討していきます
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8		自立支援協議会の子ども支援専門部の構成員として参加しています 医療的ケア児連絡会にも参加しています	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		送迎時や連絡帳にて保護者との申し送り情報共有を図っています	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	8		令和3年度より、名護市から受託し、今年度も開催します	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		利用契約時に保護者に対して行っています	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		児童発達支援管理責任が保護者へ説明し同意を得て行っています	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		相談があった場合は、専門職も含めて助言を行っています	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			イベントを利用し、保護者同士が集まる機会を提供しています
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		迅速に対応させてもらいます	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		毎月の便りを作成し、報告しています	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	8		職員へ誓約書を交わし、取り扱いに注意しています	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		子供の特性に合わせて様々なツールで行っています	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3		前年度秋祭りを開催しましたが、まだコロナが心配なので、地域の方々まで発信は行っていませんので、今年度は検討していきます
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		各種マニュアルを策定しています	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		年2回避難訓練を実施しています	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		看護師より、保護者へ聞き取りを行っています	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		看護師より、保護者へ聞き取りを行い適切な対応を取らせて頂きます	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		作成し職員間で共有を行っています	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		事業所内研修を行っています	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		利用契約時に保護者へ説明しています	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。